

目 次

第1部/報告

プライマリー・ヘルス・ケアとは.....	勝沼 晴雄	1
I WHO (世界保健機関) のプライマリー・ヘルス・ケアに ついての基調.....		1
II 日本のプライマリー・ケアを考える.....		5
III 生命倫理 (bioethics) について.....		9

第2部/座談会

新しい地域保健体系をめぐって		11
----------------------	--	----

出席者	勝沼 晴雄	亀井康一郎
	大谷 藤郎	鎌田ケイ子
	並木 正吉	日笠 端
司 会		宮坂 忠夫

I 日本のプライマリー・ケアについて.....		12
-------------------------	--	----

この座談会について 12 伝染病対策から健康一般へ 13 “ベシ
ック”から“プライマリー”へ 13 プライマリー・ケアはコミュニティ
から 14 出席者の紹介 15 プライマリー・ケアとは? 16 プ
ライマリー・ケアについての誤解 17 日本のプライマリー・ケアと
は? 18 国や地域の事情や条件を踏まえて 19 21世紀にかけての
生存の基盤 19 患者中心と包括医療 20 家庭中心→地域中心の保
健・医療 21 岩手県沢内村の事例 22 長野県八千穂村の事例 22
大都市の問題 23

II プライマリー・ケアをめぐる制度上の問題点.....		24
------------------------------	--	----

プライマリー・ケアの精神が基本 24 プライマリー・ケアは地域の需
要から 25 地域の需要とは? 26 一番大事なことは何か 27

医学の正しい考え方の適用	27	日本の制度上の問題点——治療の経費と予防の経費	29	コミュニティを場とする考え方の拡大を	30	広い立場からの健康づくりへ	31	道路整備とヘルス・ケア	31
III 看護と健康教育32								
看護が一番必要な老人は?	32	寝たきり老人の問題をめぐって	33						
老人とプライマリー・ケア	34	プライマリー・ケアと健康教育	35						
IV プライマリー・ケアについて聞きたいこと36								
沢内村の具体的なやり方は?	36	患者中心の医療をめぐって	36						
週1回半年間の注射?	37	外科医は心理学者であれ	38	諸外国のよい点の取入れを	38	地域社会への参加はコミュニティの問題	39		
「生命の倫理」は人間としての倫理	40	“包括的医療”の包括とは?	41						
大都市の場合は?	42	沢内村のやり方について	42	成功のカギ	43	包括的医療は健康の全スペクトル	44	大都市の場合はコミュニティの問題	45
沢内村のリーダー層	45	沢内村の総合開発	46						
沢内村の鬼の医師	46	リーダーシップあれこれ	47	健康教育のあり方について	47	沢内村の2人目の鬼の医師	48	日本の医療保険制度とプライマリー・ケア	49
開業医師の立場から	50	行政官の立場から	51	分立している制度の見直しを	52	プライマリー・ケアと「都市環境計画」	53	都市計画もコミュニティから	54
町づくり教育は実践を通じて	55								
V プライマリー・ケアをすすめるために56								
終りに一言を	56	医師や看護婦の教育と高齢化への対処	56						
地域の実態に応じた適用を	57	地域社会参加	57	費用負担の論議を	58				
パイオエシックスからコンセンサスを	59	老人にとって何が幸せか	61						
病気の予防のための強力な栄養政策——ノルウェーの例	61								
生産性の低い層への考慮を	62	世界中の健康づくりをコミュニティから	62						

第3部／付論

地域包括医療の理論と実践の模索

——沢内村・湯田町（西和賀地域）を場として——

加藤 邦夫…64